

再評価【番号5】

赤ハデ谷
通常砂防事業

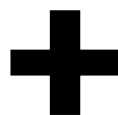
<通常砂防事業の費用便益計算について>

○便益の算出

直接被害

土石流により生じる被害

- ・ 人家・家庭用品, 農地への被害
- ・ 公共施設, 公益施設への被害
- ・ 人身被害



間接被害

土石流から波及的に生じる被害

- ・ 土砂撤去などの応急対策費用
 - ・ 人への精神的被害
- ※平成24年3月のマニュアル改訂に伴い追加



広島県広島市安佐南区/国土交通省HP



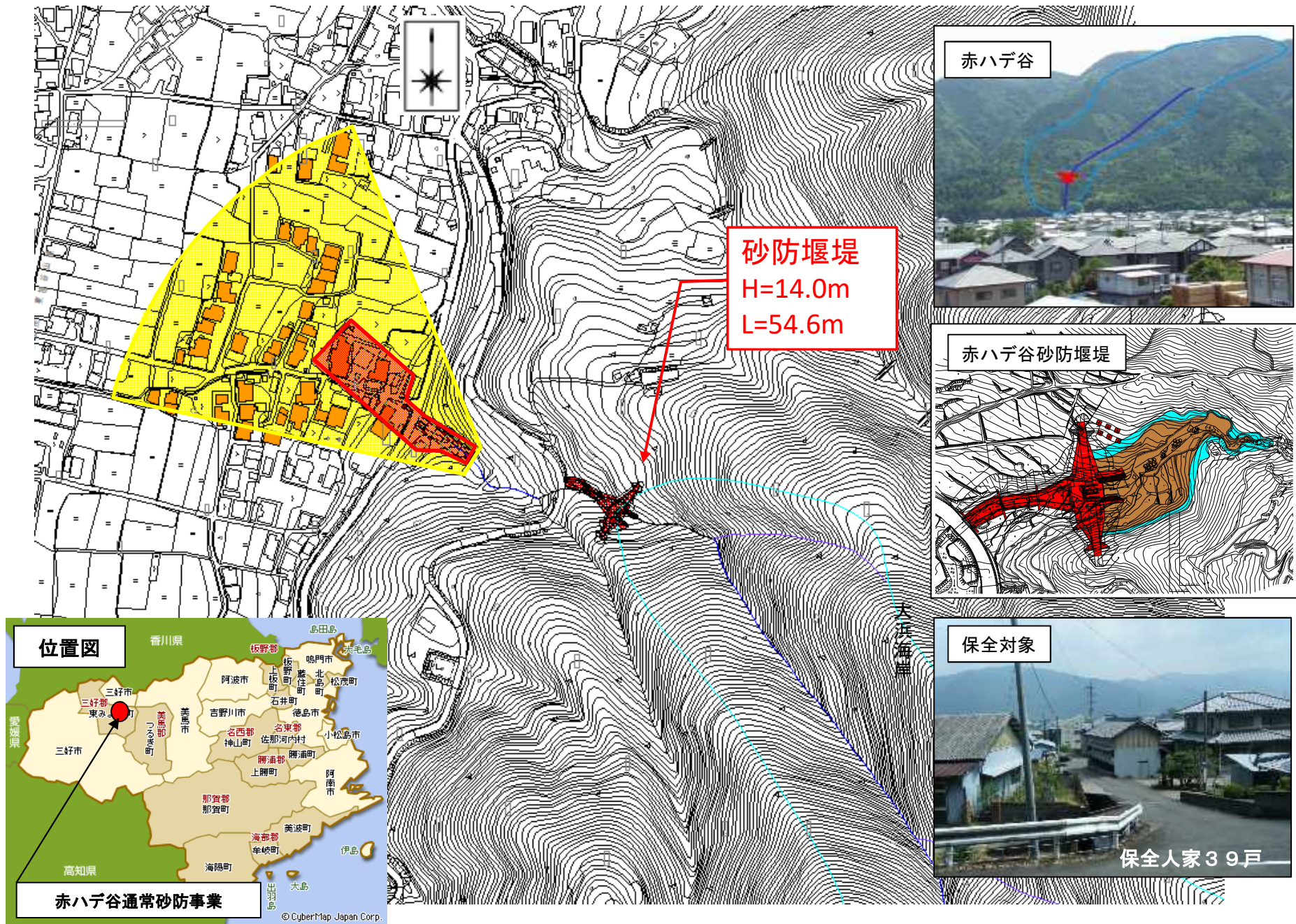
福岡県朝倉市北川付近/国土交通省HP



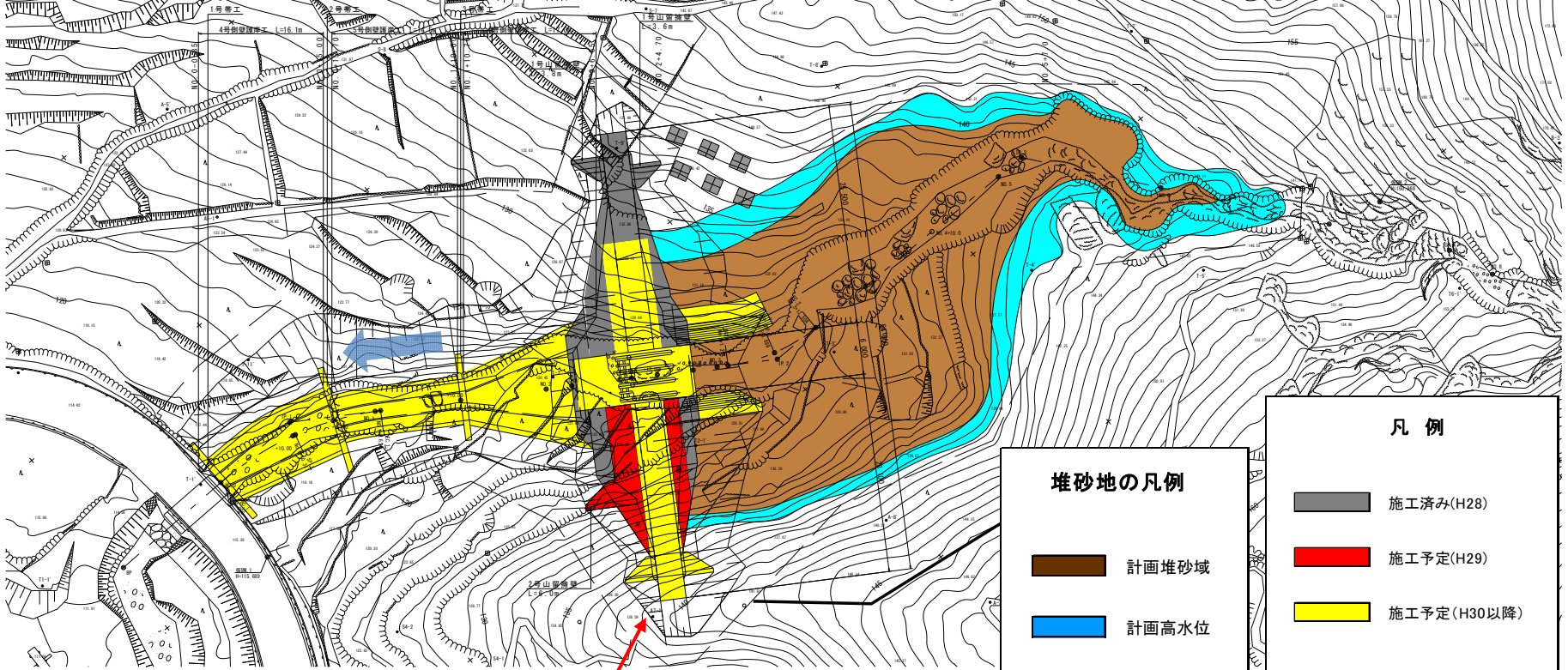
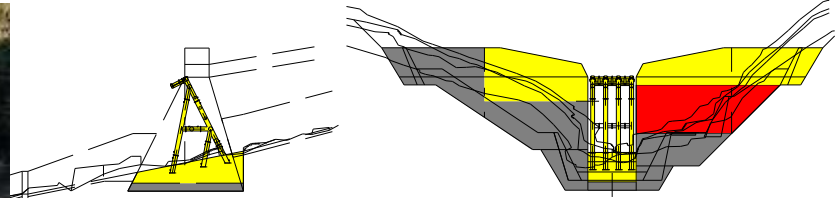
広島県広島市安佐南区/国土交通省HP

$$\text{便益 (被害軽減額)} = \text{保全された施設の評価額}$$

1. 事業箇所



2. 事業計画



砂防堰堤

堆砂地の凡例		凡例	
	計画堆砂域		施工済み(H28)
	計画高水位		施工予定(H29)
			施工予定(H30以降)

3. 費用対効果について

費用対効果分析

総費用

C = 2.8億円 (現在価値化後)

総便益

- 一般資産被害軽減
- 公共土木施設被害軽減
- 応急対策費用軽減
- 人的被害軽減
- (人的被害による)精神的被害軽減

B = 24.3億円 (現在価値化後)



B / C = 8.7

主な保全対象

保全対象

- 保全人家39戸
- 町道



保全人家

他の対策

ソフト対策

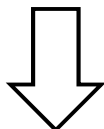
- 土砂災害警戒区域の指定
- 土砂災害ハザードマップの作成



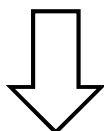
東みよし町ハザードマップ

4. 事業の経緯及び結果について

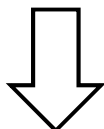
H25 新規事業着手



H26 用地取得完了



H26.12月 工事着手



H29.12月 砂防堰堤整備中



事業継続

